

生きることは、食べること

マキシム・ド・パリ株式会社 開発担当部長 齋藤 正浩

子供のころに訪れた思い出のレストランがいつしか憧れとなり、それが今、自分の職場となっています。

食に関わる仕事をしているからこそ言えることは、やっぱり食事は大切だということ。『生きることは、食べること』と言ってもいいと思っています。人は赤ちゃんのときのミルク、離乳食にはじまり、普通の食事へと変わり、周りから愛情をたくさん注がれながら育っていきます。美味しいものを食べると、心が温かくなり気持ちも癒される。何より前向きな気持ちになれると信じ、今はそんなお客様を一人でも増やしたいと思い、仕事をしています。

僕もそうでしたが、きっと皆さんが大人になった時、「大人はこんなに旨いものを食べていたのか！」と驚くはず。大人が大人を満たすために作る料理は、きっと子ども時代には出会えない、全くの別物！と言っていいでしょう。

憧れを抱いて飛び込んだ食の世界でしたが、料理人としての厳しい修業を経て、レストランで提供するワインに興味をもち、ソムリエの資格をとるべく勉強して、夢をかなえました。

一生懸命前を向いて進んでいれば、必ず仲間ができます。

努力している姿をみてくれて、手を差し伸べ、引き上げてくれる人もいます。

大人になれば子ども時代には想像しえなかった人、モノ、コトとの出会いがたくさんあります。そんな出会いを是非皆さんにも体験してほしい。

見えない未来を悩む必要はありません。

思い通りにならない今を考える必要もありません。

子ども時代に興味をもったもの、進んで調べたり習得したりしたものは、その後の人生に影響し、大きな力を与えてくれると思います。

とにかく今は好きなモノ楽しいコト、何でも色々「試食」してみてください。

※齋藤 正浩さんは、さいたま市出身です。フランス料理界で活躍され、ソムリエとしてトップレベルの実績を有しておられます。

保護者の皆様へ

さいたま市教育委員会



いじめや自殺など子どもをめぐる痛ましい事件が発生しております。さいたま市教育委員会は、市にゆかりのある方々に御協力をいただき、子どもたちに「希望をはぐくむメッセージ」をお届けすることといたしました。

学校では、子どもたちにメッセージを読み聞かせました。ぜひ御家庭でも話題にしてください。学校では、子どもたちにメッセージを読み聞かせました。ぜひ御家庭でも話題にしてください。